

博物館歴史講座

じぐちあんどん

地口行灯の世界

第52回企画展「川越の地口行灯」に関連して歴史講座を開講します。

「地口行灯」は、神社や地域の祭礼の際に飾られる、四角い木枠に和紙を張って、そこに文字と軽妙な絵が描かれた行灯のことです。

最近は目にする機会が減少していますが、川越では現在でも地口行灯の伝統が継承されています。

本講座では、江戸時代から伝わる地口行灯について学びます。

第1回 8月31日(日)

「『地口行灯』の作り手と広がり」

講師:足立区立郷土博物館 荻原 ちとせ 氏

第2回 9月7日(日)

「川越市域の民俗文化財と地口行灯」

講師:川越市文化財保護課 石田 千恵子 氏

時間 午後1時30分～3時

定員 80人(高校生以上)

費用 各回100円

会場 川越市立博物館視聴覚ホール

申込み 8月5日(火)までに2次元コードのホームページから電子申請

または【講座名・住所・氏名・年齢・電話番号】を記載し往復はがき

川越市立博物館

問合せ:049-222-5399

送付先:〒350-0053 川越市郭町2-30-1
川越市立博物館 歴史講座受付

